

5 学校の取組

学校は、こどもが「生きる力」を身につけ、新しい時代を切り拓く積極的なところを育てていくことが必要となります。家庭、地域、学校が連携を図りながら次のような取組を行うことが期待されます。

- (1) 体験を重視した教育を推進し、こどもの主体性を尊重します。
- (2) 障害児教育の充実に努めます。
- (3) 学校保健委員会の開催等、学校保健体制の充実に努めます。
- (4) こどもの心身の健康、性教育、喫煙・飲酒防止教育、食育等、学校における健康教育の充実に努めます。
- (5) スクールカウンセラー等の配置の促進、相談機能の充実に努めます。
- (6) 地域活動やボランティアへの参加を促進します。
- (7) 家庭、地域社会、関係機関等との連携に努め、地域に開かれた学校とします。

なお、県民運動の推進として、次の学校から具体的な取組方針をいただきました。

- ・三重県小中学校長会
- ・三重県立鳥羽高等学校
- ・三重県立城山養護学校

三重県小中学校長会

【目 標】

- 健やかで、心豊かな子どもをそだてます。
- 地域との連携により、健やかな子どもをそだてます。

【評価指数】

- ・ 校内の分煙化を徹底します。
- ・ 会議中の禁煙を徹底します。
- ・ スクールカウンセラーの配置率を上げます。

【課題と方向性】

- ・ 大半の学校においては、分煙化及び会議中の禁煙が行われていますが、まだ、完全実施の状態にないため、施設の整備を含め、完全実施としていきます。
- ・ スクールカウンセラーの配置が、本年度必要とされる学校すべてになされていないので、適切に対応できない場合があるため、可能な限り資格取得と、配置を願っています。

県立鳥羽高等学校

小中高・地域の連携によるエイズ教育の取組

【目標】

- 小中高及び地域が連携したエイズ教育をきっかけとして、健康教育全体の推進を目指します。
- エイズ問題をテーマとしたミュージカル上演を中心にして、子どもたちがエイズについての正しい知識を学べるようにします。

【評価指標】

- ・ ミュージカルを観賞した小中学校生徒児童のアンケート調査
- ・ 自治体及び高校教職員へのアンケート調査

【課題と方向性】

(課題)

- ・ 学校教育を中核に、行政を含む地域全体へ取組を拡げることが今後の課題です。
- ・ 継続的な取組にするため、日常から小中高の連携を実施していく必要があります。

(方向性)

- ・ エイズを予防する能力や態度を育てます。
- ・ 人権尊重・男女平等の立場に立った性教育・健康教育の充実を目指します。
- ・ 小中高及び地域が一体となって取り組みます。

三重県立城山養護学校

【目 標】

- 養護学校のセンター的役割として障害のある子どもの身体の発達支援を行います。
- 障害のある子どもの就学前教育相談を行います。
- プレスクールの開校
- 学校見学会の設定

【評価指標】

- ・ 肢体不自由学級への機能訓練回数
- ・ プレスクールへの親子の参加状況
- ・ 給食体験での摂食状況
- ・ 学校見学会参加数

【課題と方向性】

- ・ 市町村の肢体不自由障害児学級への支援活動として、専門資格を有する教職員が機能訓練指導に出向きます。(月1回、2名で)
- ・ 専門相談員が年間33回来校し、主に就学前母子の教育相談に当たります。

プレスクール内容

- ・ 自己紹介、みんなであたおう、学校長挨拶、個別対応の食形態の給食についての説明、年間計画説明、学校見学、給食体験等
- ・ 乗馬体験
- ・ みんなで遊ぼう1 (自由遊び、集団遊び)
- ・ 津療育センター見学
- ・ みんなで遊ぼう2 (自由遊び、集団遊び)
- ・ 学校見学会
- ・ スクールバス乗降、相談
- ・ クリスマス会
- ・ 初春あそび (すごろく等)
- ・ 一日見学
- ・ 新入生説明会